

本学では教員養成に係る教育の質の向上のため、以下の取組を行っています。

【教職支援センターの設置】

本学では、小・中・高校及び栄養教諭の教員免許状の取得が可能です。教職支援センターでは、初等教育から中等教育まで多様な免許種の教員養成をサポートしています。学校及び地域社会の教育課題に的確に対応できる人材の養成に向けて、教職課程を履修する学生の支援や教職関連情報を提供しています。

【教職オリエンテーション（新入生）、教職ガイダンス（在学生）】

入学時及び各年度4月に実施し、教職課程の概要、履修方法（登録手続き）、履修上の注意事項など、それぞれの段階に必要な情報を提供し、学生の疑問に対応しています。

【履修カルテの配付】

教職履修学生には「教職課程履修カルテ」を配付しています。

学生が教職課程科目の履修を通して、教師としての資質能力をどの程度保持しているのか、何が足りないのかなどについて把握するための学習履歴となり、この「履修カルテ」は「教職実践演習」を担当する教員をはじめ、大学側が学生指導するために把握することを目的とするものだけではなく、学生個人に対する補完的な指導等にも活用しています。

【教職インターンシップ入門・実践】

近隣地域の4市町教育委員会と共同事業に関する協定を締結し、「教職インターンシップ」を実施しています。教職を目指す学生が直接学校現場と関わる機会を設け、教育実習や現場体験的授業科目をコアにした体系的なカリキュラムの構築を行っています。観察実習⇒体験（教職インターンシップ入門・実践）⇒教育実習（教壇実習）を通じた積み上げ方式で実践的指導力のある教員の養成を目指し、1年次より体系的に教職課程科目を履修するよう指導しています。

【教職支援センター運営委員会】

学内において教職課程における諸問題の解決及び情報の共有を図るため「教職支援センター運営委員会」を月1回開催。教職課程担当委員（各学科選出・各1名、委員会選出・若干名）と教職支援センターが相互に連携を図りながら教育の質向上に努めています。

【沖縄大学教職実践研究の発刊】

教職支援センター運営委員会から選出された編集委員の編集により、「沖縄大学教職実践研究」を2011年度から刊行しています。教職課程に関わる「研究論文」をはじめ、「研究ノート」、「実践報告」を掲載。教職課程全体の研究・教育水準の向上を図っています。

【沖縄県公立学校教員育成協議会】

教員の養成・採用・研修及び教育実習にかかる諸問題について教育委員会及び学校関係者が協議を行い、相互の連携、協力をより緊密なものとするにより、沖縄県公立学校教員の資質能力の向上及び教育実習の円滑な実施を図ることを目的として、小委員会及び協議会をそれぞれ年2回開催しています。